

2025 年 11 月 13 日

報道関係各位

GMO グローバルサイン株式会社

## GMO グローバルサイン、証明書ライフサイクル管理 における包括的戦略を発表

～証明書有効期間の短縮化に備え、3つのソリューションを提供予定～

GMO インターネットグループの GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社の連結企業群で、電子認証サービスを展開する GMO グローバルサイン株式会社（代表取締役社長：中條 一郎 以下、GMO グローバルサイン）は、証明書ライフサイクル管理（CLM:Certificate Lifecycle Management）<sup>(※1)</sup> 領域における包括的戦略を発表いたします。

本戦略は、自社が提供する「LifecycleX byGMO」、2026 年中での提供予定の「Atlas Discovery」、そして CyberArk 社との提携製品である「CyberArk Certificate Manager」を組み合わせた三層構造で展開し、企業のデジタルセキュリティと運用効率化を包括的に支援します。お客様の SSL サーバ証明書のご利用枚数（規模）やシステム環境に応じて、最適な CLM ソリューションを提供いたします。

（※1）証明書ライフサイクル管理（CLM:Certificate Lifecycle Management）とは電子証明書の発行・更新・失効・棚卸しを一元管理し、セキュリティと運用効率を高めるための仕組み



### 【CLM 戦略の背景】

2025 年 4 月に CABF (CA/Browser Forum) <sup>(※2)</sup>において、SSL サーバ証明書の有効期間短縮化が正式に採択されました。現在は 1 年超の有効期間が認められていますが、段階的な短縮を経て 2029 年には有効期間がわずか 47 日にまで短縮される見込みです。この決定は、インターネット全体のセキュリティ強化を目的としたものですが、企業にとっては大きな運用負担をもたらします。発行から失効までのサイクルがこれまで以上に短くなることで、更新作業の頻度が急増し、次のような課題が顕在化します。

（※2）電子認証事業者及びブラウザベンダを主な構成メンバーとする、電子証明書サービスをとりまく課題解決についての議論や業界ガイドライン作りを行っている世界レベルのボランティアフォーラム

## ・セキュリティインシデントのリスク増大

更新忘れや遅延が、証明書切れによるサービス停止や通信の暗号化解除といった深刻なセキュリティインシデントを引き起こす可能性が高まります。結果として、顧客体験の悪化やブランドの信頼失墜、さらには法規制対応上の問題にも直結しかねません。

## ・業務量の爆発的増加

更新サイクルが短縮されることで、従来の数倍の頻度で証明書管理作業を行う必要が生じます。特に手作業による運用では、担当者の負荷やヒューマンエラーの発生リスクが増大し、効率的な業務遂行が困難になります。

このような環境変化に直面する中で、証明書運用の可視化と自動化は不可欠であり、企業がセキュリティと業務効率を両立させるための最重要課題となっています。GMO グローバルサインは、これらの課題解決を支えるために包括的な CLM 戦略を推進してまいります。

## 【三層構造の戦略概要】

GMO グローバルサインは、証明書ライフサイクル管理における多様なリスクを包括的に解決するために、以下 3 つのソリューションを用意いたします。いずれもお客様の規模やシステム環境に応じて最適な証明書の発行・更新・失効・棚卸しを一元管理し、可視化と自動化によるセキュリティ強化と効率化の両立を実現。アラート通知や監査対応レポートなど、実運用を支える機能も幅広く備えています。

① LifecycleX byGMO、②CyberArk Certificate Manager、③Atlas Discovery（提供予定）

これら 3 つのソリューションにより、証明書ライフサイクル管理におけるリスクを包括的に解決し、変化の激しい環境下においても万全な体制を整えています。証明書の有効期間短縮化という業界の大きな転換点に対し、GMO グローバルサインは未来を見据えたセキュリティ基盤を提供し、企業のデジタルトラストを強固に支えてまいります。

製品	概要	おすすめの利用者像	特徴
LifecycleX byGMO	Windows 向けソフトウェア	・ オンプレミスまたはプライベートクラウドでサービス運用利中の企業 ・ 小～中規模向け	Active Directory 連携による導入
CyberArk Certificate Manager	SaaS 型サービス	・ パブリッククラウドでサービス運用中の企業 ・ 中～大規模向け	API 連携による導入 マルチクラウド環境対応
Atlas Discovery (提供予定)	証明書の可視化・管理サービス	・ Globalsign Atlas サービスの利用ユーザー ・ 利用している証明書の現状把握をしたい企業	証明書を自動検出し、可視化と管理機能を提供 GlobalSign のサービスとシームレスに導入可能

お問い合わせはこちら : <https://jp.globalsign.com/contact/customer/>

## 【CyberArk とは】（URL : <https://www.cyberark.com/ja/>）

CyberArk (NASDAQ : CYBR) は、アイデンティティ セキュリティの世界的なリーダー企業です。モダンエンタープライズにおける人とマシンのアイデンティティを保護する企業として、世界中の組織から信頼されています。CyberArk の AI を活用したアイデンティティ セキュリティ プラットフォームは、アイデ

ンティティの全サイクルにおいて継続的に脅威を予防、検出、対応し、インテリジェントな特権制御をすべてのアイデンティティに適用します。

これにより、組織は完全な可視性とゼロトラスト、最小特権の適用を通じて運用およびセキュリティリスクを削減し、従業員、IT、開発者、マシンを含むすべてのユーザーが、場所を問わず安全にリソースにアクセスできるようになります。

### 【GMO グローバルサインとは】

GMO グローバルサインは、電子認証サービスが登場し始めた 1996 年にベルギーでサービスを開始し、ヨーロッパで初めて WebTrust を取得した信頼性の高い認証局です。2006 年より GMO インターネットグループに参画し、政府・大企業レベルのセキュリティ技術を日本および世界に提供しています。

現在は日本国内における電子証明書シェア No.1<sup>(※3)</sup> を誇り、東京を本拠にグローバル 11 拠点体制で展開。2024 年時点での電子証明書累計発行数は 3,800 万枚を超え、総務大臣認定のタイムスタンプサービスや、VMC 証明書によるブランド保護など多様な信頼サービスを展開しています。

また、オンライン本人確認の eKYC、マイナンバーカード対応の公的個人認証サービス、ID/パスワード管理の IDaaS「GMO トラスト・ログイン」なども提供し、安心・便利なデジタル社会の基盤を支えています。グローバルな業界標準策定にも積極的に参画しており、『CABF(CA/Browser Forum)』<sup>(※2)</sup> 『Anti-Phishing Working Group』 『クラウド署名コンソーシアム』、さらにデジタルコンテンツの真正性と透明性を推進する「C2PA (Coalition for Content Provenance and Authenticity)」にも加盟。国際的なセキュリティと信頼性の向上に貢献し、電子証明書と電子署名分野のリーディングカンパニーとしての地位を確立しています。

(※3) 2025 年 8 月時点 英 Netcraft 社「SSL Survey by Hosting Country」有償 SSL 認証局ルート別

以上

#### 【報道関係お問い合わせ先】

●GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

社長室 広報担当 大月・遠藤

TEL : 03-6415-6100

お問い合わせ :

<https://form.gmogshd.com/contact/pr/>

#### 【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO グローバルサイン株式会社

マーケティング部 坂井

TEL : 03-4545-1800

E-mail : support-jp@globalsign.com

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 西崎

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ :

<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO グローバルサイン株式会社】(URL : <https://jp.globalsign.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン株式会社
-------	------------------

所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 中條 一郎
事 業 内 容	■情報セキュリティ及び電子認証業務事業
資 本 金	3 億 5,664 万円

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】(URL : <https://www.gmogshd.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■電子認証・印鑑事業      ■クラウドインフラ事業 ■DX 事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能)  ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C)2025 GMO GlobalSign K.K. All Rights Reserved.